

令和6年度自己評価・学校関係者評価報告書

(学)聖パウロ学園 聖パウロ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ① 身体の健康を保ち、たくましく成長する子どもに育てる。
- ② 明るく豊かな心情を養い、神を敬う気持ちを持つ子どもに育てる。
- ③ 友達と仲良く遊び、自立心のある子どもに育てる。
- ④ 自分で考えたり、工夫する態度を養い、のびのびと自由に表現できる子どもに育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

創立70周年を迎え、建学の精神を土台にこれまで培われてきた聖パウロ幼稚園の目指す教育・保育の実践のためにさらに教職員の資質向上に努めていく。

これまで継続して大事にしてきた「個々を大事にする保育、一人の子どもを全教職員で育てる」保育を実践をいくために、今年度は個々で、また集団での更なる「遊びの充実」を重点目標として掲げた。

3. 評価項目の達成目標及び取組状況

	評価目標	評価	取組状況
1	園の教育理念・教育方針の理解と保育の実践	A	建学の精神の学びを土台に、園の目指す教育・保育の実践のために、教職員の資質向上に努めてきた。保育にあたっては、指導計画に沿って日々の保育実践を積み重ねた。日々や学期ごとの振り返りをおこない、お互いの保育をより知り合う機会としてきた。また、各種研修会や研究会に積極的に参加し、学んだことを教職員間に提供し共有化を図るようにした。そのことで、教職員が一体となって保育に取り組む姿勢が向上した。今後、さらに園内研修の充実を図り、一人の子供を全教職員で育てる「チームパウロ」の保育実践をすることができた。
2	一人一人の育ちと個別に配慮の必要な幼児への対応と取り組み	A	「子どもにとって」という視点を忘れずに、行事の見直しや計画・実践にあたってきた。教師が客観的に子どもを見る目を養えるよう、意見交換を大切にした。個別に配慮が必要な幼児に対しては、今年度もNP0法人もりおかユースポート巡回訪問支援の受け入れを始めとし専門機関との連携を図り、園も保護者もアドバイスを受けられるような体制に努めてきた。そのような環境の中で個々の子ども達の成長が見られた。このような姿勢が「一人一人の子どものよさを受け止め大事にする園」として保護者からも理解と信頼を得ている。
	危機管理	B	・教職員が安全に関する研修、今年度は不審者対応等について実践的な研修を実施し「子どもの安全」に備えてきた。 ・安全マニュアルの見直しと作成をしてきたが、教職員での理解を深め安全に備えることが今後の課題として残った。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、“子どもたちにとって”を物事の判断の基本とした一人一人の子どもを大切にする「聖パウロ幼稚園の目指す、質の高い教育・保育の実践」につながった。また、さらなる質の向上に向けた課題も明確になり、次への意欲へとつながっていった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 次年度重点的に取り組む課題

※「幼保連携型認定こども園」1～2歳児の受け入れによる、保育環境の整備。

	課題・目標	具体的な取り組み方法
1	教育・保育計画	発達に即した保育計画と実践について考える。 3歳児からの育ちにつながる1～2歳児の育ちと指導計画の作成と一人一人に即した教師のかかわり方や望ましい援助についての全体計画を作成する。
2	遊びの環境	「育ちあう異年齢の交流」、「子どもが遊び学ぶ場としての環境」のための、室内・園庭の環境を計画的に整備していく。
3	危機管理	教職員が安全に関する研修を受け、「子どもの安全」に備える。 安全マニュアルの見直しと作成をし、教職員での理解を深めると共に保護者への周知徹底について。

6. 学校関係者評価委員会の評価

園全体がざわざわしていない。聖パウロ幼稚園の素晴らしいところだと思う。先生たちの声掛けも穏やかでホッとします。そのような環境の中で子ども達は不安のないとてもよい表情をしていた。玄関に入って直ぐの廊下がいつも素敵に飾られていて雰囲気がとても良いと感じた。皆が好きな場所で好きな遊びができる環境がとても素晴らしく、生き生きのびのび ゆったり、安心感に包まれている。とても園全体の雰囲気が良かった。特性を持ったお子さんもいると思うが目立たず、みんなが一緒に心が育っているのだと感じた。「お互いを大切に思い合う」という園の方針が浸透し、大人（参観者）に対してとても親しみを持って接してきて、大人に対して安心感や信頼というものが育まれていると感じた。

「子どもが真ん中」子ども達の幸せを第1に考える聖パウロ幼稚園の園づくりに共感した。次年度からの「幼保連携型認定こども園」への移行後も、引き続き応援していきたい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

(2025. 3. 31)